



www.OptionClub.net

オプション倶楽部TV



【売坊流】グレイ・リノ分析

米コンファレンス・ボードは 景気後退を予想

この番組では日本株や米国株のトレードに役立ちそうなイベント、**グレイ・リノ**、異常値について紹介していきます！



OP売坊



OP売坊の**グレイ・リノ**

サイは普段おとなしいが
怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 気候変動による食料価格高騰・食料危機
- 🐘 新型コロナの感染拡大と訴訟拡大懸念
- 🐘 地政学的リスクの複雑化（ウクライナ・中東・中国など）
- 🐘 **日米欧でスタグフレーション（景気後退+インフレ）確定か？**
- 🐘 日米欧中の経済・財政政策の不確実性（米国の債務上限問題）
- 🐘 米国のインフレ vs 金融不安（米国国債格付け引下げ懸念）
- 🐘 高利回り債（ジャンク債）市場の崩壊
- 🐘 金利上昇による資産圧縮の株式への影響
- 🐘 米国大統領選挙と**日本の解散総選挙**
- 🐘 日本の2023・24・25・30年問題と預金封鎖
- 🐘 日銀YCC政策の限界と**増税ラッシュ**
- 🐘 中国の不動産バブル崩壊懸念と景気失速
- 🐘 バフェット指数（株式時価総額÷名目GDP）の異常値
 米国：158.8（5月31日概算）、139.3（2022年9月末）
 日本：146.0（6月06日概算）、118.8（1月16日概算）



衆議院議員の任期満了は2025年10月21日ですが、岸田内閣は増税を強行するために早期解散に打って出る可能性が出てきたと考えています。総選挙がグレイ・リノになり得るのは、番狂わせがないとは限らないからです

など

グレイ・リノ（灰色のサイ）とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。



2023年・2024年の日米経済は減速基調に

米調査機関、コンファレンス・ボード（全米産業審議会）の経済成長予測

	2000-2008	2011-2019	2021	2022	2023	2024	2024-2029	2030-2035
United States	2.4	2.2	5.9	2.1	0.7	0.4	1.7	1.6
Europe	2.3	1.6	5.5	3.5	0.6	1.0	0.9	0.8
Euro Area	2.1	1.2	5.1	3.3	0.8	1.0	0.8	0.7
Germany	1.5	1.7	2.6	1.8	-0.1	0.9	1.0	1.0
Italy	1.2	0.1	7.0	3.8	1.1	0.7	0.0	-0.2
France	1.9	1.4	6.8	2.6	0.8	1.2	1.1	1.0
United Kingdom	2.3	2.0	7.6	4.1	0.2	0.8	1.0	0.9
Japan	1.1	0.9	2.2	1.0	1.0	0.8	0.6	0.5
Other Mature Economies	4.0	2.8	5.6	2.8	1.3	2.0	2.6	2.2
Mature Economies	2.4	1.9	5.4	2.7	0.8	0.9	1.4	1.3
China	10.4	7.3	8.1	3.0	5.1	4.7	4.4	4.1
India	7.1	6.8	9.0	6.8	5.0	4.8	4.7	4.3
Other Developing Asian Economies	5.2	5.0	3.8	5.6	3.8	3.8	3.6	3.4
Latin America	3.4	1.2	6.9	3.7	1.0	1.3	1.7	1.6
Brazil	3.8	0.8	5.3	3.0	0.9	1.3	1.5	1.3
Mexico	2.2	2.4	4.9	3.1	2.4	1.0	1.9	1.5
Middle East & North Africa	4.9	3.1	4.8	5.6	2.7	3.9	2.4	2.5
Gulf region	5.2	3.7	3.3	8.2	2.0	4.7	2.4	2.6
Sub-Saharan Africa	5.9	3.6	4.7	3.6	3.0	3.0	3.5	3.5
Russia, Central Asia and SE Europe	6.5	2.8	6.8	-0.6	0.6	2.4	1.8	1.7
Russia	7.0	1.8	4.6	-1.6	-0.2	0.8	0.4	0.3
Turkey	5.0	5.6	11.6	5.4	1.5	2.3	3.1	2.9
Emerging Markets and Developing Economies	6.3	4.8	6.9	3.8	3.6	3.8	3.6	3.4
World	4.0	3.3	6.2	3.3	2.3	2.5	2.6	2.6

今後のコンファレンス・ボードの予測もCPI同様、経済イベントとしてフォローしていく必要があると考えています。同予測は日米だけでなく世界的に23年と24年に経済成長が鈍化し、その後も中期的に停滞気味とみています

コンファレンス・ボードの景気成長予測は、当然予測ですので、当たる時も当たらない時もあります。しかし、私は信頼度が高いと注目しています。また、その変化にも注目しています



2023年10-12月期から3期連続で米国のマイナス成長を予想

コンファレンス・ボードの米四半期経済成長予測

	2021				2022				2023				2024				2020*	2021*	2022*	2023	2024
	I Q*	II Q*	III Q*	IV Q*	I Q*	II Q*	III Q*	IV Q*	I Q*	II Q	III Q	IV Q	I Q	II Q	III Q	IV Q					
Real GDP	6.3	7.0	2.7	7.0	-1.6	-0.6	3.2	2.6	1.3	0.6	-1.2	-2.1	-0.9	1.8	2.3	2.3	-2.8	5.9	2.1	1.0	0.0
Real GDP (YoY)	1.2	12.5	5.0	5.7	3.7	1.8	1.9	0.9	1.6	1.9	0.8	-0.4	-0.9	-0.6	0.3	1.4	-2.8	5.9	2.1	1.0	0.0
Real disposable income	52.4	-28.8	-4.6	-4.9	-10.6	-2.3	3.2	2.5	7.8	1.2	1.0	0.6	0.5	1.7	1.8	1.9	6.2	1.9	-6.2	3.0	2.3
Real consumer spending	10.8	12.1	3.0	3.1	1.3	2.0	2.3	1.0	3.8	1.0	-1.7	-2.4	-1.3	1.1	2.0	1.8	-3.0	8.3	2.7	1.3	-0.4
Residential investment	11.6	-4.8	-5.8	-1.1	-3.1	-17.8	-27.1	-25.1	-5.4	-2.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0	4.0	7.2	10.7	-10.6	-11.9	0.7
Nonresidential investment	8.9	9.9	0.6	1.1	7.9	0.1	6.2	4.0	1.4	0.2	-5.9	-5.9	-3.9	3.2	4.5	5.0	-4.9	6.4	3.9	0.7	-1.4
Inventory change (bil chn '12\$)	-83.0	-144.0	-49.0	198.0	215.0	110.0	39.0	137.0	7.0	-30.0	-30.0	-30.0	-10.0	5.0	5.0	5.0	-55.0				1.3
Total gov't spending	6.5	-3.0	-0.2	-0.9	-2.3	-1.6	3.7	3.8	5.2	2.5	2.4	0.0	1.0	2.1	2.5	2.2					
Exports	0.4	4.8	-1.1	23.5	-4.6	13.8	14.6	-3.7	5.2	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0					
Imports	7.6	7.9	6.6	18.6	18.4	2.3	-7.3	-5.5	4.0	1.4	-1.7	-1.0	1.5	2.0	2.5	2.5					
Unemployment rate (%)	6.2	5.9	5.1	4.2	3.8	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	3.7	3.9	4.4	4.5	4.5	4.4					
Labor Force Participation Rate (%)	61.4	61.6	61.7	61.9	62.3	62.2	62.2	62.2	62.5	62.6	62.6	62.5	62.4	62.2	62.1	62.2					
PCE Inflation (%Y/Y)	1.9	4.0	4.5	5.7	6.4	6.6	6.3	5.7	4.9	3.9	3.5	3.1	2.6	2.3	2.1	2.0	1.1				2.2
Core PCE Inflation (%Y/Y)	1.7	3.5	3.9	4.7	5.3	5.0	4.9	4.8	4.7	4.3	3.8	3.2	2.5	2.3	2.1	2.0	1.3	3.5	3.0	4.0	2.2
Fed Funds (% Midpoint, Period End)	0.125	0.125	0.125	0.125	0.375	1.625	3.125	4.375	4.875	5.125	5.125	5.125	5.125	4.875	4.375	3.875	0.125	0.125	4.375	5.125	3.875

米国経済の70%は個人消費ですので、一番重要な項目です。また、コンファレンス・ボードは来年3月まで政策金利の引き下げはないとみています

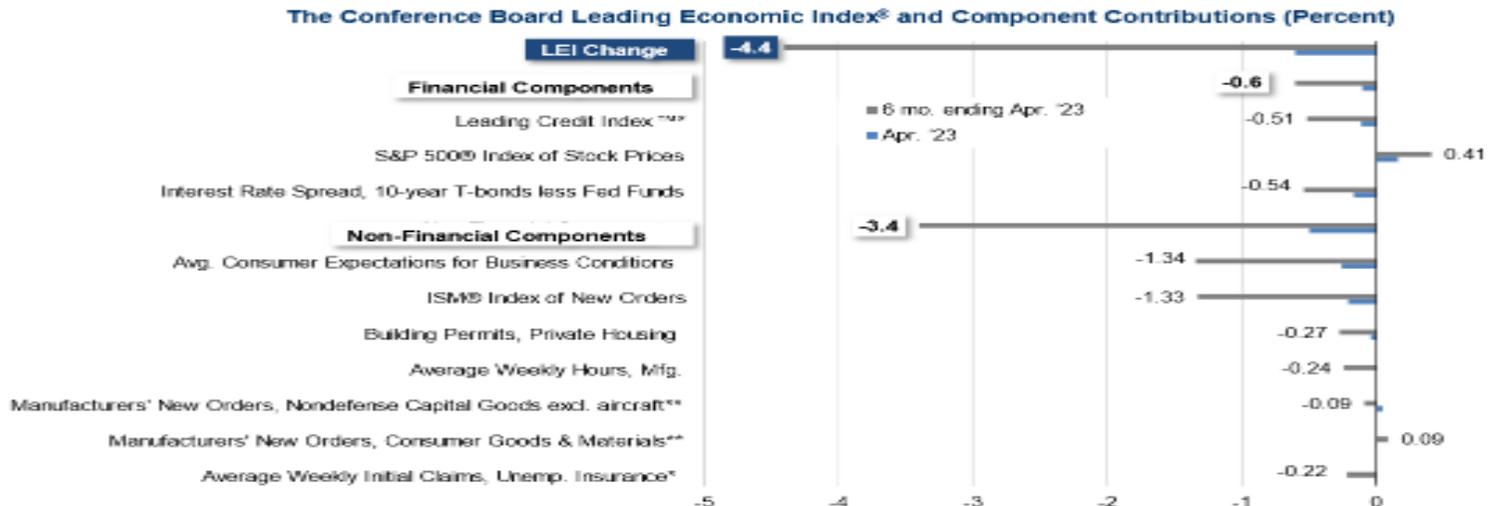


米景気後退への警戒は今後12カ月程度続く

米LEI（景気先行指数）6カ月成長率（年率）



LEIの構成要素と各状況



Source: The Conference Board
 * Inverted series; a negative change in this component makes a positive contribution.
 ** Statistical Imputation
 LEI change might not equal sum of its contributions due to application of trend adjustment factor

米LEIの構成要素には、

<金融要素>

- 先行信用指数
- S&P500
- 長短金利差

<非金融要素>

- 消費者景気期待平均値
- ISM新規受注指数
- 新規個人住宅着工件数
- 製造業週平均労働時間
- 航空機を除く非国防資本財新規受注
- 消費財新規受注
- 失業保険週平均新規申請件数

があります。LEIの低下は金融要素ではない予想の低迷が大きいということです



増税目白押しか

今後の増税計画案（検討中を含む）

2023年

インボイス制度開始

2024年

法人税増税（税額の4～4.5%を上乗せ）

復興特別所得税の延長（さらに20年）

所得税増税（1.0%程度）

生前贈与の相続税加算期間（3年から7年に）

高齢者介護保険料（1割から2割に）

後期高齢者医療保険（上限を引き上げて73万円に）

国民年金納付期間（60歳から65歳に）

2025年

扶養控除縮小

後期高齢者医療保険（上限を引き上げて80万円に）

2026年以降

教育資金の一括贈与廃止

退職金の非課税枠縮小

増税がグレイ・リノになるのは、大きな増税が個人消費にマイナスになり、政局にも影響するからです

インボイス制度の大きな問題点は、規模の小さな個人事業主が、減収や廃業に追い込まれるリスクが高くなるということです

とにかく、なりふり構わず「取れるところから取ろう」とする意図が感じられます。一方、国会議員の利権（議員報酬や宿舍の賃料など）には一切手を付けようとはしていないようです

OP売坊の重要視しているもの

確率・勝率・収益率

資産管理・
リスク管理

パターン分析
(時系列
・分布)

簡単・
シンプル

オプションは面白い

オプション倶楽部TVでは配信動画をさらに楽しんでいただくため、補足Q&Aを無料メルマガ「グレイ・リノ通信」でご提供しています。登録はOP倶楽部のサイト (optionclub.net) にメールアドレスを入力していただくだけです。同メルマガでは過去にラジオNIKKEIの番組に出演したときの補足Q&AやOPトレードに関する情報も配信しています。ぜひぜひお気軽にご登録ください！ 質問も募集中!!

質問大募集 →

<http://trs.jp/r/op-form>



最後までご清聴、誠にありがとうございました。

講師ブログ『実践オプシオン教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

講師ツイッター『OP売坊@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2023 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



YouTubeで『オプション倶楽部TV』の配信をはじめました

毎週水曜日22時にパンローリングチャンネルで!!



3つの視点で日本株・米国株・為替市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週
政治経済イベント



第二週
グレイ・リノ



第三週
異常値



第四・五週は
トレードに役立つ知識の
ワンポイント解説

グレイ・リノ（灰色のサイ）とは、高い確率で大きな問題を引き起こし得るにも関わらず市場からまだ軽視されている事象をいいます。ブラックスワンのきっかけとなり得る問題ですね

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html>

オプション倶楽部 検索



売坊先生のYouTube動画を何倍も楽しめる

補足記事やOPトレードに関する情報を配信中！

詳細・登録は www.OptionClub.net から



- ・日銀金融政策決定会合はOP**買い**戦略のチャンス!?
- ・最近の裁定売り残・買い残の推移から、どのようなことがみえてくるのでしょうか？
- ・中国が着々と米国債を売って金を買っている!?
- ・米国株の「不都合な真実」とは何でしょうか？
- ・OP**買い**戦略で確認・対処すべきポイントとは？
- ……など

読者には入門セミナーと本コースの受付を**先行・優先でご案内**いたします

オプション倶楽部 検索



日経225オプショントレード入門セミナー

7月22日（土）10時～（オンライン開催）

不透明な時代、225OPで運用の幅を広げてみたい方のために

!! 受講前に『売坊流OPTレード実践Q&A』を進呈!!

!! 受講後に『入門テキスト』を進呈!!



- 入門戦略「日経225CALL売りトレード」の優位性と心構え
- 最適な権利行使価格を選ぶコツ
- 警戒すべき局面とは
- 最新の日米市場分析
- 補完戦略「日経225OP買いトレード」の勘所

今なら
早期割引中

*Find Your
Options!*

オプション倶楽部 検索



【オプション倶楽部】OP売坊戦略コース



一緒に資産運用の達人を目指しませんか？

8月開講の新規会員 20名様限定募集

充実の180日間!!
(2023年8月~2024年1月末)

Find Your Options!

<実践を支える7つのコンテンツ>

1. 学習プログラム (動画: 全7編66回)
2. 週次レポート (日本株市場・米国市場分析・戦略など)
3. 月次セミナー (オンライン生配信とオンデマンド配信)
4. アラートメール (暴騰・暴落注意報など)
5. 個別質問掲示板
6. リスク管理エクセルシート
7. 入門テキスト (PDF)

99%の確率で年率15%の収益を安定的に稼ぐことを目的としています。成功へのカギは確率統計とリスク管理だけ!



オプション倶楽部 検索

専用ページ <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011442400004>